

# スリランカとパキスタン:



## 平和で安全な国づくり

南アジアは、インド亜大陸的共通性と、ヒンドゥー教、仏教、イスラム教といった宗教的違いによる多様性が混在しています。そしてその多様性は、しばしば対立の種になってきました。今回は、その対立を乗り越えて平和を確立し、発展の道を辿ろうとしているパキスタンとスリランカを紹介します。パキスタンは、アフガニスタン、インド、中国、そして旧ソ連の接点として、長い間、対立の前線に置かれていました。地震など大きな自然災害にも苦しめられています。スリランカは、北部の独立を求めて武力闘争をしていたタミル・イーラム解放のトラと政府の内戦が終結し、平和構築が進み始めたところです。両国の安全保障問題と、社会経済の現状、今後の発展について、議論します。

■日時: 12月17日(火)

17:00～18:30(開場:16:30)

■会場:

神田外語大学7号館2階

クリスタルホール

■使用言語: 英語

(本学通訳翻訳課程の学生による同時通訳あり)

■司会:

山形辰史氏

(アジア経済研究所  
開発スクール事務局長・教授)

※ 入場無料、事前申込不要

### パキスタン



パキスタン公立インターナショナル・イスラミック大学大学院修士課程修了(経済学修士)。Section Officer(上級公務員)としてパキスタンのMinistry of Economic Affairs(経済問題省)に勤務。アジア経済研究所開発スクールの研修参加のため、2013年9月末から2014年3月半ばまで日本に滞在予定。

講師: ムハマッド・サイード・アフマット・  
チョードリー氏

(アジア経済研究所 研修生)

### スリランカ



スリランカ国立コロンボ大学大学院修士課程修了(人事管理学修士)。Assistant Director(課長補佐)としてスリランカのBoard of Investment(投資委員会)に勤務。アジア経済研究所開発スクールの研修参加のため、2013年9月末から2014年3月半ばまで日本に滞在予定。

講師: タヌチャ・クマリ・バンダール・  
ウェラカトゥ・ムディヤンセラゲ氏

(アジア経済研究所 研修生)

主催

神田外語大学  
グローバル・コミュニケーション研究所

後援

日本貿易振興機構  
アジア経済研究所開発スクール